

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	介護老人保健施設翡翠苑	階数	地上4F
建設地	北九州市八幡西区森下町26番31	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	180 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年3月 予定	評価の実施日	2010年5月2日
敷地面積	4,266 m <sup>2</sup>	作成者	井口琢朗
建築面積	1,960 m <sup>2</sup>	確認日	2010年5月10日
延床面積	5,595 m <sup>2</sup>	確認者	井口琢朗



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 81%

③上記+②以外のオンサイト手法: 81%

④上記+オフサイト手法: 81%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 3.4**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

##### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.7

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.4**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	超高齢化社会を念頭に、使いやすく安心して過ごせる、また地球環境と地域社会と共存していく介護老人保健施設を実現する。	その他
Q1 室内環境	療養室は東向き・西向きとならざるを得ないため、療養室部分には庇や縦ルーバーを設けて光環境・熱環境の改善を図る。	Q3 室外環境 (敷地内)
LR1 エネルギー	インバーター機器の採用 全熱交換器の採用 高効率ガス給湯器の採用 太陽光発電設備の採用	Q2 サービス性能
		療養室は基準以上の十分な面積を確保する他、維持管理性と居住性を両立した内装計画を行なう。
		LR2 資源・マテリアル
		地中に存在する旧浄水場後躯体を利用した基礎計画とする。内装材には特定有害物質を含有する材料を使用しない。
		LR3 敷地外環境
		コ・ジェネレーション設備や高効率給湯器、高効率照明器具の採用等により排出CO <sub>2</sub> 低減を図る。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい